

令和5年度 認定こども園仁賀保評価委員会 会議録

1, 日時 令和6年2月29日(木) 10:00~11:15

2, 会場 当園ひまわり組保育室

3, 会次第

- (1) 挨拶、園内一巡、自己紹介
- (2) 令和5年度保護者アンケート、職員自己評価の結果について
- (3) その他
- (4) 質疑応答、指導助言

4, 出席者

巴 真喜子(琴浦)	茂野 正信(琴浦自治会副会長)
古戸 寿幸(P T A会長)	島田 美智子(P T A副会長)
柴田 こずえ(園長)	大高 志津子(副園長)

5, 会議内容

園長より～資料に沿って5年度の振り返り、保護者アンケート、職員自己評価の結果についての説明～

- 今年はコロナウィルス対策も緩和され、園行事や活動をほぼコロナ前に規模に戻した。
- 保護者からはおおむね良い評価をいただいたが、中にはマイナスな評価もあったので、今後の課題にしていく。
- 保護者の多様化について、担任だけでなく必要に応じて園長、副園長、事務長と連携していく。
- あかるくなかよくがんばるこども…当園の目指す子ども像として位置付けている。
- 研修等…職員の園内研修の他、警察に来ていただき不審者対応の指導をしていただいたり、エピベン・A E D操作の研修ができたことはよかった。
- 地域の方々と何か交流が持てないものか。きっかけがなく難しい。
- 保護者アンケート、自己評価等を総合的に判断し、最終的にA評価にした。(4段階中)

6, 質疑応答、指導助言

(茂野)

- ・昨年書いたが、今年も自治会だよりに園の実情を載せる。琴浦で創設した園だし、こども園は地域にとっても重要。賑わいを取り戻すためにも園児が増えていくように連携していきたい。
- ・自治会では子ども向けに様々な活動をしている。新年会では子どもが大勢来てステージで踊ってくれた。その他にも雪遊び、野菜の収穫、門松作りなど。ぜひ園児にも参加して欲しい。畑で色々な野菜を育てているので、収穫体験もできるように検討してみる。

(島田)

- ・自分も琴浦だが子どもの声が聞こえない。こども園がある貴重な部落だと思う。家庭と園だけでなく地域も加わり、連携して子どもを育てていきたい。
- ・年長児の施設見学は、入所者にとっても活性化されるし、子どもにとっても老いていく姿を感じられてとてもいい体験だと思う。ぜひ続けて欲しい。

(巴)

- ・園の近くの班には子どもが3人いる家庭が数件あり、里帰りで他園の一時預かりを利用したりエスパークで遊んだりしている若い家庭もある。一時預かりは実施している？
- ・地域の畑では、手入れをする高齢者の中には子どもが苦手な方もいる。
- ・園は第2の家庭だと思う。安心、安全が基本なのでそこをしっかりと踏まえていただきたい。保育面では十分な努力を感じていて、特に給食は孫が家庭では好き嫌いしているのに、園ではきちんと食べているようで、ありがたく思っている。
- ・通園バスの安全装置はどうなっているのか？

(古戸)

- ・皆さんの話を聞き、地域のサポートや子どもを育てる姿勢を嬉しく思う。横根地区でも子どもを見かけなくなった。
- ・コロナウィルスが5類に引き下がったが、インフルエンザと共に全くない訳ではないので、引き続き手指衛生や換気等対策を徹底していただきたい。
- ・マーチング活動が目玉だが、今後も続けて欲しい。リリオスへはもう行かないのか？
- ・園児の減少は避けて通れないが、こども園のメリットを伝え対策を講じて行って欲しい。
- ・通園バスが令和6年度で終了し残念だが、ほとんどの保護者が園まで送迎しているので、ありがたい決断だったと思う。バスの通園以外の使用頻度は？
- ・年数の経った園舎だが、隅々まで汚れもなく、子ども達が快適に過ごしている。
- ・コミュニケーションアプリ「キッズリー」は保護者にとっても本当にありがたい。今後機能を拡充して行って欲しい。
- ・子ども達を育てることは勿論だが、先生方の育成とフォローも大切。

(園長)

- ・通園バス安全装置は取付済み。バスは通園の他に、ミニ遠足やエスパーク等へ出かける時、お泊まり保育、マーチング練習等で使っている。廃止後は象潟合同さんと連携する。
- ・一人でも多くの園児に入園してもらえるように、皆さまの力をお借りしながらも、今いる在園児をより大切に保育していきたい。